

# 第29号

(2015年10月15日発行)

発行: 中央大学学会 出版白門会

## CONTENTS

(お名前は敬称略)

- ▽第16回定期総会開催
- ▽出版白門会の関連行事予定
- ▽総会・懇親会クイズより
- ▽田端文士村周辺を歩いた(第5回地図を通して知る東京)…堀川 隆
- ▽碧雲荘・太宰・又吉一太宰サミット第2回に参加してみよう…丹田 公和
- ▽出版白門会へようこそ
- ▽ルポ「赤羽東奇譚」顛末…阿部 信行
- ▽中大後輩に先輩が薦める100冊の本
- ▽学員交歓
- ▽平成27年度役員紹介
- ▽決算報告・新年度予算
- ▽頑張る中大現役、二人のスタープレイヤー
- ▽懇親会クイズの解答
- ▽告知板
- ▽編集後記

### 出版白門会の関連行事予定

- ① 29号会報発行 10月15日
- ② 箱根駅伝予選会応援(於:立川) 10月17日(土)  
※応援に参加される方は9時30分に立川駅東改札口前に集合して下さい。
- ③ 「中央大学学生に向けての読書推進フェア」 10月19日(月)～11月20日(金)  
(於:多摩キャンパス生協)
- ④ ホームカミングデー 10月25日(日)  
(於:中央大学多摩キャンパス)
- ⑤ 第6回 地図を通して知る東京「赤穂浪士凱旋の道を歩く」 11月14日(土)  
※詳細が決まり次第、会員メールでご案内いたします。
- ⑥ 第15回能楽鑑賞会 12月12日(土)/12時開場、13時開演  
会場:国立能楽堂(渋谷区千駄ヶ谷4-18-1) / JR千駄ヶ谷駅より徒歩5分  
演劇曲:「殺生石(せっしょうせき) / 白頭(はくとう)」。演者「片山九郎右衛門(観世流)」、狂言「鶏聲(にわとりこゝ) / 古式(こしき)」。演者「茂山良暢(大藏流)」  
※「申し込み方法」「内容詳細」は同封の申し込みチラシで。
- ⑦ 箱根駅伝応援(予定) 1月3日(日) 復路ゴールの中大応援団前
- ⑧ 出版白門会新年会と懇親会 1月22日(金) 18時30分～  
会場:日本出版クラブ会館、会費:6000円  
※後日、出欠確認を兼ねたご案内をお送りします。
- ⑨ 出版関連見学会(2月予定)  
最新のオンデマンド出版などを予定
- ⑩ 会員交流花見(於:靖国神社) 4月2日(土) 17時現地集合  
※詳細は後日会員メールにてご案内いたします。  
■行事に係わるお問合せは、下記メールでご連絡ください。  
E-mail:pub.hakumon@gmail.com

## 総会・懇親会クイズより

**【第1問】** 現役中大生の67.1%が関東の1都6県出身ですが、地方出身の多くが一人暮らしをしています。ここで問題です。学生が一人暮らしをする時に重要視している条件の一番は以下の中のどれでしょうか?  
①生活上の利便性 ②セキュリティ ③交通の利便性 ④家賃

**【第2問】** 一方、自宅通学も昨今の社会状況を反映して増えていて、文系学部生の56.2%が自宅通学です。ここで問題です。それでは理工学部生の自宅通学率は以下のどれでしょうか?  
①50%台 ②60%台 ③70%台 ④80%台

※この他の問題は、下記の出版白門ホームページでご覧になれます。

# 出版白門

● 出版界に出版白門の知恵と情熱を! ●

題字:平成元年卒業 井奈波朋子(聖法律事務所弁護士)

### ●基本方針

1. 会員ニーズに応える活動による、会員満足度の向上
2. 中央大学、学会、他支部との連携強化
3. 会費徴収促進による、財政の健全化

### 第16回定期総会開催

第16回定期総会が7月29日(水)、猛暑の中、来賓に室勝弘中央大学学会副会長を迎え、38名の出席者を集め、出版クラブ会館で開催された。

濱田会長の開会挨拶に続き、議事に移り、26年度事業報告、決算報告、27年度役員、活動方針、予算の5議案について報告・提案が行われ、全議案が原案通り承認可決された。今回は任期2年の改選期にあたり、雨谷、後藤、金田各理事、丹田広報委員長、阿部組織委員長が退任となり、森岡理事、北村広報委員長、高木組織委員長が新任となった。また、27年度の活動計画として、10月から11月にかけて、中大生に向けた読書推進活動を行う事が報告され、会員への協力を呼びかけた。

第二部の懇親会では、来賓の室副会長より、当会の活発な活動状況に対して敬意を表すとの祝辞が述べられた。続いて風間副会長の乾杯で、懇親会がスタート。初参加者紹介では、昨年と今年卒業したトーハンのフレッシュな2名より自己紹介があり、会場からは盛大な歓迎の拍手が起きた。

恒例の「テーブル対抗中大クイズ大会」では、中大生のライフスタイルに関する問題を、「学生生活実態調査結果」より出題。これが意外に難問で、各チーム苦戦の中、4問中2問正解のチームが優勝を飾った。最後は、恒例の土屋事業委員長の歌唱指導による校歌の斉唱、朝妻副会長の中締めで名残を惜しみつつ閉会となった。



白熱する恒例の中大クイズ



声高らかに校歌斉唱



出版クラブプロースルームでの最後の二次会(スタッフの皆さんと)

出版白門会ホームページアドレス <http://pub-hakumon.jimdo.com/>

facebook 出版白門会サイトへのアクセスは検索サイトの「出版白門会(中央大学学会職域支部)」から…

## 田端文士村周辺を歩いた（第5回地図を通して知る東京）

出版白門会の恒例行事となった、まち歩き（＝地図を通して知る東京）。5回目を数えた今回は、5月17日（日）、田端文士村記念館を起点に文士・芸術家の旧邸宅跡地とその周辺を散策しました。

当日の参加者は9名。午後1時40分集合。小竹正倫顧問の案内で、まずは田端文士村記念館を見学。田端文士村界隈は、戦災で焼失しており、旧邸宅はあくまで「跡」ということであって、事前に記念館で展示や古い画像を用いたガイダンス映像を観て、しっかりと文士・芸術家の人物像やかつての景観についての知識を得たことが、

当日の散策にはとても役立ちました。

見学後、散策を開始。新緑の、暑すぎるくらいの日ざしのなか、芥川龍之介邸跡→香取秀真家跡→天然自笑軒跡→楽天堂医院跡→東覚寺（赤紙仁王）→小杉放庵、竹久夢二、田川水泡家跡→室生犀星下宿跡→ポプラ坂→板谷波山家跡、ポプラ倶楽部跡→大龍寺（正岡子規、板谷波山墓所）等々を巡りました。

一同、明治・大正文化の香りに触れるひと時を堪能したのち、田端駅前で、打ち上げの杯を交わし、乾いた喉を潤して散会となりました。（事業委員会・堀川）



田端文士村記念館前にて

## 碧雲荘・太宰・又吉 一太宰サミット第2回に参加してみても

9月14日、「荻窪の歴史文化を育てる会」主催の「太宰に会う、又吉に会う」というタイトルの太宰サミット第二回が杉並公会堂において開催された。1,000人収容の会場がほぼ満席で、6～6.5割が女性、中でも若い女性が多く見受けられたのは、太宰と当日出演の又吉人気によるものだろう。

本イベントの企画意図は、2014年から荻窪を中心とした杉並区の文化財を保存活用すること目的に活動している主催者の最初の取組みである「碧雲荘の保存・活用」に向けた運動を広く知ってもらおうというものだが、碧雲荘の文化財的価値の他に、太宰が住んだ下宿であるということ、その太宰の大ファンである又吉氏が運動に共鳴したことで、今回の企画が成立している。

プログラム最初の作品朗読は、太宰治作品朗読をライフワークとし、太宰ゆかりの場所でのライブ活動や、太宰ゆかりの人物の取材活動を行う、元大分放送アナウンサーの朗読家・原きよ氏の再構成された『富岳百景』の朗読だった。太宰と同じ青森県五所川原市の出身のピアニスト・渡辺秋香氏のピアノ伴奏に合わせたプロの朗読



又吉氏を囲んで(右端はイベント事務局の、出版白門・土屋さん)

は、二人の息の合ったパフォーマンスと相まって、太宰の文章の心地よさを再認識させるものだった。

基調講演「碧雲荘の文学的魅力」では東大文学部の安藤宏教授が、太宰の東京での生活を、住んでいた場所を時系列でなぞりながら、昭和8年から12年までの杉並区天沼での時代と（途中昭和10年に船橋に転地療養している）作品との関係を解説した。天沼では5度も引っ越ししているが、この時代に太宰治というペンネームを使いはじめ、作家としても大きく成長し、佳作を多く生んでいる。碧雲荘に住んでいた昭和11年は、太宰にとって最も辛く過酷な年で、重要な負の体験時代であったという。『富岳百景』の中に書かれている、絶望の中でアパートの便所の金網越しに泣きながら見た富士というのは、まさに碧雲荘からの富士であった。

もう一つの基調講演「碧雲荘の建築的魅力」では、建築史家の松本裕介氏が、東京にかつて数多くあった「下宿屋」とはどんな建築物であったかを映像を交えながら解説。今でも東京にわずかに残る、かつて下宿屋だった建造物の中でも碧雲荘は優れたもので、文学史的価値を除いても、次々と壊されていくかつての「下宿屋」の現物が見られる建物をせめて1軒でも、日本の文化遺産として保存しておくべきだと力説した。

当日のメインイベントともいべき又吉直樹氏の講演「私の中の太宰治」は、前の基調講演を受けて、「自分は古いアパートが好きだ。冬は寒く、夏は暑いという環境は大切に、そんなアパートで四季を感じる

のが好きである」という話から始まった。

子供のころから本が好きで、言葉に興味を持ち、辞書を読むのが好きだったという同氏が、太宰に入り込んでいったのは、14歳の時に読んだ『人間失格』で、その中に小学校時代の自分の強烈な体験と全く同じことが書かれていて、太宰は自分の事を知っているのではないかとさえ思ったという。自分が悩んでいる時、だれからも納得できる答えが得られない時、太宰の作品に答えを見出し、救われてきた。一つの事に対する評価は多様であり、時に矛盾する。そんな矛盾に誠実に向き合うのが純文学の魅力ではないだろうかと思う。太宰の作品の中では、矛盾に誠実に向かい合うことで、どんどん太宰が分からなくなっていくという仕掛けがあり、これが小説の面白さ、文章を作る面白さだと思う。お笑いに共通するものを感じる。物事を断定していけばシンプルにはなるが、実際の世界はシンプルではなく、断定できることなど、そうあるものではないと同氏は言う。本を読むこと、特に太宰を読むことでそう教えられ、助けられたと言う又吉氏が純文学の面白さを分かり易く発信する伝道師となってくれることは、出版文化、出版産業にとってもとてもありがたいことと思う。

松本侑子氏との対談の中で同氏が又吉氏を持ち上げたことで場内から拍手が沸き上がった。その時、又吉氏は「拍手はありがたいが、自分は拍手をしない人の方が気になる」とぼつりと呟いた。気になるということは、興味がある、親しみを感じるということようで、又吉氏の作家としての感性に益々期待が膨らんだ。（丹田公和）

## 出版白門会へようこそ

(アイウエオ順)

### 佐野友祐 トーハン 2014年 商学部卒

トーハン2年目の佐野友祐と申します。現在、大学の生協様向けの営業を担当する部署で中央大学生協様の担当（私の担当は理工キャンパスと附属高校です）を任せていただいております。中央大学をお客様に持たせていただけることに感謝しつつ、母校愛を忘れずに仕事しております。

この度の出版白門会では、有り難いことに私のような若輩者が大先輩の皆様方から気さくに話しかけていただき、とても素敵な時間を過ごすことが出来ました。出版界の人間として一人前になれるよう、今後とも精進して参ります。その際、中大の先輩方からご指導を頂ければ幸いです。



### 浅野俊太 トーハン 2015年 商学部卒

「出版業界を変える」と恐れながら豪語し、今年の4月より出版業界に足を踏み入れました取次トーハンの浅野俊太と申します。中央大学附属高等学校から中央大学に進学し、中大生協の学生団体でイベント運営等に携わっておりました。この度、幸運にも弊社の先輩方からお声をかけていただき、総会に出席させていただきました。ずっと憧れていた出版業界の錚々たる方たちと交流することができ、感激しております。若輩者ですが、今後ともどうぞよろしくお願致します。



小生生まれも育ちも荒川・町屋である。隅田川で産湯をつかり云々で、この方ずつと住んでいる。ご幼少のみぎり、近辺は前近代まで氾濫域で幾度か自宅前に水が溢れ一度床上浸水となった経験がある。そんな土地の記憶を抱えながら6月28日志茂駅に集合した。以下レポートする。

今号にも掲載されているが、そもそもは田端文士村街歩きに参加できなかったのが残念で、その思いを胸に本企画をスタートした。そして丹田先輩との打ち合わせの中で、コースは「江戸から東京へタイムスリップする散歩道」に変更した。というのも北区の街歩き観光コースは驚くほど充実していて全部で10コースあり、しかもすべてボランティアの人の随行・説明付である。これは豪華、ということで昭和のノスタルジーを求め「乗り」に拍車がかかった。

梅雨時故に心配していたが、天候に恵まれ総勢10名が集まる。その中には出発前の



西蓮寺前で・・・

ガソリンを確保すべく、事前に探索した店から来た強者もいた。当日のボランティアの人は事前打ち合わせの時のベテラン男性2名に、見習いといっても知識の大変豊富な妙齢の女性2名の計4名。真に贅沢な布陣。合計14名で13:45予定通りスタートした。

見学コースは以下。志茂駅→西蓮寺（鎌倉時代後期の供養塔、といっても石版がある）→熊野神社（紀州熊野三社権現を勧請）→黒田機器（大正時代の建築）→荒川治水資料館（館内見学と解説・隅田川と荒川の関係を初めて知る人多し・小生の今回の最大の関心事。流域の水害もこれにより治まった）→荒川土手経由（岩淵水門・ここで荒川と隅田川が分かれる）→八雲神社（蔵に勝海舟自筆の大旗。町名存続闘争勝利記念の石碑がある）→小山酒造（参加メンバー大方のお目当てだったが、見学は平日のみにて残念。しかし売店で地酒丸眞正宗を購入する人多数。酒粕も）→正光寺（浄土宗・鎌倉時代に建立）→宝幢院（古の人が頼りとした街道の道標がそのままの場所に残っている）→ゴール（一番街・伝説の居酒屋「まるますや」前）

そう賢明な読者の方々には既に察知してもらえると思うが、今回の街歩きは二番目



「愛酒報國」の看板が歴史を感じさせる小山酒造

の（真の？）目的は「せんべろ」赤羽探索にあった。志茂駅スタートも、そのスタート時刻も、コース設定（通常とは逆回り）も、すべてはここから逆算して組み立てられていたのだ。「せんべろ」の名に恥じない、OK横町にある昭和29年創業の大箱居酒屋「八起」で懇親会。街歩きの一日の疲れを癒し、歴史の意外性を肴に、名物チャーマンに舌鼓を打ちながら懇親会はいつ果るとも知れず続いたのであった。

今回の街歩き面白さは到底紙面ではお伝えできない。興味のある人はぜひこのコースのトレースをお勧めする。一つだけエピソードをお伝えしてルポを閉じることにする。

岩淵町は、江戸時代に徳川将軍が家康公を葬る日光へ社参するときに通る「日光御成道」の第一宿場として栄えた。徳川将軍は、一般に知られている千住を通る日光街道ではなく、岩淵・川口・鳩ヶ谷・大門の4宿を経て日光街道に出る岩槻街道を使用したのであった。

以上内容豊富で、往時の人々の暮らしが眼前に蘇ってくる、まったく興味の尽きない行程であった。皆さん、お疲れ様でした。



名残をおしみつ「八起」前で解散（堀川氏撮影）

## 中大後輩に先輩が薦める100冊の本

出版白門会では、10月19日～11月20日の期間、表記により選書された本を展示したフェアを中大多摩キャンパス生協で開催いたします。本を読まなくなったという大学生に、このような機会をきっかけに読書の愉しみを知らしてもらいたいとの願いから、出版白門会、トーハン白門会、大学（生協）、その他中大OBの連携で実現した初めての試みです。

9月9日現在、既に150冊を超す推薦が届いており、これらがリーフレットにまとめられた時は、後輩ならずとも広く関係者の関心と呼ぶものと思われまます。

上記期間中には「ホームカミングデー(10/25)」「白門祭(10/29～11/1)」も開催されますので、これらのイベントにご来場の際は、生協にもお立ち寄りください。

## 学 員 交 歓

■出版白門会の、今後の方針の一つは他の学員会支部との交流促進です。以下に、最近の他支部との交流を報告します。

❖ 2015年7月25日、「白門文京支部」の定期総会後、蓮池薫氏の講演会と懇親会が後楽園飯店において開催され、出版白門会からは5名が参加した。蓮池氏の講演では、北朝鮮との交渉が全く進展しない理由についての貴重な分析等も報告された。白門文京の久代副支部長（東京ドーム社長）の乾杯の音頭で始まった懇親会では、他支部の皆さんと親しく交流ができた。また、蓮池氏には過日の講演出演のお礼を申し上げ、当日参加の出版白門会会員一同と共に記念撮影を行った。



❖ 2015年7月26日、白門57ネット主催の「江戸落語を楽しむ会」に出版白門会員5名（「白門文京支部」参加者とは4名が異なるメンバー）が参加。中大OBの春風亭朝也（チョウヤ）さんの「唾（オシ）の釣り」と「片棒」の二題を中大記念館で楽しんだ。朝也さんは昨年の「NHK新人落語大賞」の大賞受賞者で、近いうちに真打昇進は間違いないと目されていて、若さと巧さに溢れた芸で、入場者はライブの魅力を大いに楽しんだ。その後の懇親会では、中締めの後、出版白門の新理事であり、朝也さんの中大落研の大先輩でもある森岡さんと、朝也さんの小話合戦が始まり、会場は最高に盛り上がった。



## 平成27年度役員紹介

会長 濱田 博信 (日本図書普及)	幹事長 竹林 聡 (日本出版販売)	組織委員長 高木 浩行 (トーハン)
副会長 朝妻 伸雄 (集英社 OB)	副幹事長 白石 紀一 (檜書店)	事業委員長 土屋 隆一 (IPCビジョン)
風間賢一郎 (中央社)	書記 利根川伸行 (TONEGAWA)	広報委員長 北村 信治 (医学映像教育センター)
理事 安部 英行 (学事出版)	弦巻ゆかり (今人舎)	
一戸 裕子 (羊土社)	会計 島崎 修 (ディスカバリー)	
鹿谷 史明 (ダイヤモンド社)	藤原 隆通 (日本経済新聞出版社)	顧問 上瀧 博正 (全国出版協会)
森 武文 (講談社)	会計監査 矢下 晴樹 (中央社)	顧問 小竹 正倫 (地図協会)
森岡 憲司 (トーハン)		

## 決算報告・新年度予算

## 中央大学学会出版白門会 平成26年度決算報告

自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日

収入の部		(単位:円)	
科目	決算額	摘要	
前年度繰越金	622,166	前年度からの繰越金	
会費収入	307,000	年会費 5,000円×61人、新入会費 1,000円×2人	
その他収入	640,021	総会費、新年会費、学員会費など	
(内訳) 総会費	272,000	6,000円×36人、2次会費、学員会・中大祝金	
新年会費	297,000	6,000円×42人、2次会費、書籍売上金	
その他	71,021	ホームページ作成支援費(50,000円)、支部会員名簿協力費(10,000円)、講演会講師料補助(11,021円)	
支部活動支援費	50,000	支部活動支援費	
寄付	74,229	幹事寄付	
雑収入	231	会計口座利子	
総計	1,693,647		

支出の部		(単位:円)	
科目	決算額	摘要	
事業費	982,359	総会関連費用、理事会関連費用、新年会関連費用、会報製作費他	
(内訳) 総会費	304,373	平成26年7月24日	
理事会費	16,200	平成26年7月24日	
新年会費	387,127	平成27年1月23日	
幹事会費	0		
会報製作費	245,759	会報26号、27号製作費、発送料他	
その他事業費	28,900	総会賞金関連費用	
事務費・雑費	9,138	振込手数料など	
慶弔費	0		
交際費	10,000	ホームカミングデー提供品代	
繰越金	692,150	次年度への繰越金	
総計	1,693,647		

中央大学学会出版白門会計  
島崎 修  
藤原 隆通  
中央大学学会出版白門会計監査  
矢下 晴樹

## 中央大学学会出版白門会 平成27年度予算

自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日

収入の部		(単位:円)	
科目	予算額	摘要	
前年度繰越金	692,150	前年度からの繰越金	
会費収入	330,000	入会金 1,000円×5人、年会費 5,000円×65人	
その他収入	629,000	総会費、新年会費、その他事業参加費他	
(内訳) 総会費	282,000	6,000円×40人など	
新年会費	297,000	6,000円×45人など	
その他	50,000	その他事業費、学員会補助など	
支部活動支援費	50,000	支部活動支援費	
寄付	15,000	幹事寄付など	
雑収入	231	会計口座利子など	
合計	1,716,381		

支出の部		(単位:円)	
科目	予算額	摘要	
事業費	1,006,200	会報製作費、総会費、その他事業活動費	
(内訳) 総会費	310,000		
理事会費	16,200		
新年会費	350,000		
幹事会費	10,000		
会報製作費	240,000	年2回(4月、10月)発行予定	
その他事業費	80,000	講演会費、事業費、名簿作成費、読書推進活動費など	
事務費・雑費	10,000	事務用品、交通費、振込手数料等	
慶弔費	20,000		
交際費	30,000	学員会出席祝儀、ホームカミングデー賞品など	
繰越金	650,181	翌年度以降に繰り越すべき会費等	
合計	1,716,381		

中央大学学会出版白門会計

## ★頑張る中大現役、二人のスタープレイヤー★

中大運動部から二人のスタープレイヤーが誕生し、また、誕生しようとしている。一人はバレーボールの男子日本代表のトッププレイヤーとして驚異の活躍をする、法学部2年の石川祐希選手。この石川を擁する中大バレーボール部が関東大学春季リーグで完全優勝し、全日本大学選手権で優勝したのは当然の結果だろう。全日本の「NEXT4」のトップを走る石川に注目したい。

もう一人は、日本選抜陸上和歌山大会の女子七種競技で学生チャンピオンとなった文学部1年生のヘンプヒル恵(メグ)選手。日本ジュニア新記録、学生新記録と記録を塗り替え、現在、日本歴代3位に入っているが、まだ大学1年生であり、リオ、東京五輪での活躍を期待したい。

## 告知欄



## ■母校が本年度の司法試験合格者1位に

試験問題漏えいという不祥事で話題になった今年の司法試験でしたが、8,016人が受験し1,850人が合格、合格者の平均年齢29.1歳という難関で、中央大学は170名の合格者を出し、2位の慶応大学158名を大きく引き離し、昨年の2位から今年は1位になりました。

## ■箱根駅伝予選会応援(於:立川)にご参加ください

今年の予選は、来年の箱根駅伝に出場できるか微妙な位置にいます。連続出場記録が切れるというニュースにならないよう、ご声援をお願いします。予選会応援にご参加できる方は10月17日(土)9時30分に立川駅東改札口前に集合。一緒に昭と公園の応援会場に向かいます。

## ■中大OB落語家による「三人会」のご案内

「中央大学落語研究会OB会」主催の、林家つる子(2席)、春風亭朝也(長講一席)、桂やまと(長講一席)の「三人会」が下記のように開催されます。(会場地図などの詳細は、後日、会員メールでご案内します)  
【日時】2016(平成28)年1月30日(土) 午後1時開場、午後1時30分開演(終演16時)  
【場所】新宿永谷ホール 【入場料】出版白門会のメンバーは全員前売りと同じ1,500円(予定)。当日受付で「出版白門会」と申告してください。【申込先】阿部信行。  
メール bgny-abe@i.softbank.jp、携帯 090-6528-7911 【締切】前日まで。

## ■①出版白門会ホームページのご案内

アドレスは <http://pub-hakumon.jimdo.com/> です。GoogleやYahooといった検索サイトで「出版白門会」を検索すると上位にヒットしますので、そこからのアクセスも可能です。

## ■②出版白門会事務局へのご連絡は下記メールアドレスをご利用ください。

E-mail: pub.hakumon@gmail.com です。

## ■会費未納の皆様へ(年会費金額¥5,000)

## ①同封の振込用紙にて、もしくは下記口座へお振込みをお願いいたします。

郵便振替口座記号番号 00180-8-600659 加入者名 中央大学学会出版白門会  
振込用紙がなくても、直接郵便局の窓口やATMでも手続きができます。ゆうちょ銀行の口座をお持ちの方は、ゆうちょダイレクト(パソコン、携帯、スマホなど)もご利用いただけます。

## ②他行(銀行など)からの振込みをされる場合は下記口座をご指定のうえ、手続きして下さい。

ゆうちょ銀行 当座預金 店名(店番) 〇一九(ゼロイチキユウ)

口座番号 0600659

口座名義 チュウオウダイガクガクインカイシュツパンハクモンカイ

出版白門会は皆様の会費のみで運営しております。ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

## 懇親会クイズの解答

## 【第1問】(正解)③の交通の利便性です。

セキュリティは女子の20.1%、男子の5.7%と圧倒的に女子に重視されています。

## 【第2問】(正解)④の80%台で、85.7%が自宅通学です。

理工学部生の大学選択理由に「自宅から通学が可能だから」とあるのが、裏付けられています。

今回の定期総会にて広報委員長職を拝命いたしました北村信治です。入会以来、若手として?会員増強や会員相互の最新情報提供の一環で、ホームページのリニューアル・facebookサイトの立ち上げなど担当して参りました。前任の丹田様や会員の諸先輩方にまだまだご教授いただくこと多々あろうかと存じますが若さ?を武器に頑張らせていただきますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。(北村)